東京東村山ロータリークラブ　国際ロータリー第2580地区

週報

国際ロータリー・テーマ

ロータリーの未来は
あなたの手の中に

Vol.43　第2085回例会　2009.7.16

今年度会長テーマ　「誠心誠意、和をもって」“事にあたろう”

■司会：吉川例会運営副委員長

■点鐘：枕山会長

■合唱：ロータリーソング
「日も風も星も」

◆ソングリーダー：
土田会員

■お客様紹介：當間パスト会長

◆ゲスト：地区職業人育成委員　本荘修様

◆ゲスト：津久井ＲＣ　山本芳昭様

◆ゲスト：
東京東大和ＲＣ
会長　眞崎一郎様

◆ゲスト：
東京東大和ＲＣ
幹事　西川誠一様

■会長報告　枕山会長

今日は「ロータリーの友」の中から、私も同じ年代の者ですから気の付きました、退会の弁を紹介致します。
ロータリークラブに入会してから7年になります。今年度限りで退会することにしました。退会の理由はいろいろありますが、最大の理由は古希を過ぎた今、健康であるうちに毎週の例会出席の制約を離れて長期的な旅行に出たいという衝動に駆られていることです。
ロータリーを辞めても、違った形で奉仕活動は続けていきたいと思いますし、ロータリーを離れてもお付き合いを続けようと言ってくださる何人かの友人にも恵まれました。退会に当たり何がしかの感想を「遺言」として述べる事をお許しください。
ロータリークラブというのは、単なる親睦団体でも寄付団体でもない、いわば倫理団体であることを組織の理念としており、このことは「手続要覧」

や「ロータリーの友」などから明らかだと思うのですが、書面を読まず、倫理をわきまえない会員が多いのは嘆かわしいことです。ロータリー歴の長い、長老格の会員といえども例外ではありません。具体的に例を挙げましょう。会員歴の長い会員が「職業奉仕」とは金銭や物品を提供するという物質的な行為、として誤解されがちで、それが発言の背景にあるようです。
先般亡くなられました、我が地区の佐藤千尋パストガバナーが翻訳された「吾が内なる道徳律」という小冊子によれば「職業奉仕」とは「誠実と信頼」に尽きるとあります。これは「奉仕」とは、嘘やごまかしのない「まっとう商売」をして世間の信頼を得る精神的倫理的行為であることを意味しているのです。流行の言葉で言えば「コンプライアンス」にあたるでしょう。このことは「友」をちょっと読むだけで解る筈ですが、何しろ文字に当たる事をしない会員が多いことは誠に嘆かわしいことです。
クラブを去るに当たって耳障りな言葉を述べましたが、意のあるところをお汲み取りいただき、組織の理念を踏まえた、今後ますますのご発展をお祈りしています。第2580地区東京浅草ロータリークラブ稲田輝明氏のロータリーの友四月号に掲載されました事、ご紹介いたしました。

■幹事報告　高橋幹事

■ロータリー米山記念奨学会：
2009年度上期普通寄付のお願いについて
参考：前年度会員一人当たり
￥2500(年間￥5000)寄付
@2500×38＝￥95000

■ガバナー事務所：
・45期派遣学生出発日程調査依頼の受理について
→川野辺さんへFAX済
予定8月2日出発(詳細は未定)
・2012-13年度ガバナーノミニー候補者推薦のお願いについて
締切日　2009年9月15日(火)

■ＲＩ日本事務局：
2009～10年度クラブ会長と幹事のための情報資料の受理

■東京福生中央ＲＣ：
卓話の依頼について
地区拡大増強委員　目時会員あて
2009年8月26日(水)　13:00～13:30

■東村山市体育協会：
第46回市民納涼の夕べ開催の案内の受理
2009年7月25日(土)　18:30～
於　東村山駅東口駅前広場

■桜華女学院：
学校評価委員会出席のお願いについて
2009年7月25日(土)　10:00～
於　会議室

■対人地雷特別委員会：
対人地雷除去に関する特別委員会議事録の受理
2009年6月29日(月) 15:00～17:00実施されたもの

■ロータリー財団委員会：
ロータリー財団委員会のスケジュールの受理

■回覧：
「友」インターネット速報 No.389
ハイライトよねやま

■例会変更：
秋川ＲＣ　7月30日(木)→8月1日(土)
あきる野夏祭りに振替

■出席報告　石山例会運営委員

在籍会員数	出　席	免　除	欠　席	出席率
38	30	1	7	81.08

■前々回メークアップ修正後前々会欠席：0名

■前々回出席率メークアップ修正後：100%

■前々会メークアップ者：
赤木会員：理事会
土方会員：地区活動
北久保会員：所沢西ＲＣ
熊木会員：所沢西ＲＣ
中丸会員：理事会
二ノ宮会員：地区委員会
竹田会員：立川こぶしＲＣ
吉川会員：武蔵野ＲＣ

■ニコニコＢＯＸ　　金子クラブ管理委員

◆皆出席：野澤会員
（14回目）

◆眞 崎 様：会長させていただきます。よろしくお願い致します。

◆本 荘 様：大変お世話になりました。

◆枚山会長、高橋幹事：
東京東大和ＲＣ会長眞崎一郎様、幹事西川誠一様、地区職業人育成委員の本荘修様、ようこそ。よろしくお願い致します。

◆山本会員：本荘さんお世話様。眞崎さん、西川さんようこそ。

◆田中会員：多摩カップゴルフお世話様。次も頑張ります。

◆二ノ宮会員：
ロータリー財団委員長の二ノ宮です。寄付よろしくお願いします。

◆野村会員、石山会員、中丸会員：
目時会員より写真頂きました。

◆當間会員：東大和ＲＣ会長眞崎様、西川幹事様ようこそ。本荘様お世話になっています。

◆隅屋会員：東大和ＲＣ会長眞崎様、西川幹事様ようこそ。本荘様お世話になっています。

◆戸澤会員、野崎(一)会員：
写真ありがとうございます。

本日のニコニコ合計：　41,000円
累　　計　　：206,000円

■お客様挨拶

■東京東大和ＲＣ会長　眞崎一郎様

皆さんこんにちは。本年度東京東大和ＲＣ会長を務めます眞崎と幹事の西川です。この例会場には何度か訪れたことがありますが、以前は感じなかったのですが、会長としてお訪ねすると運営の方法等勉強して帰ろうという気になります。枚山会長とは幹事時代も一緒にやった関係で良く存じておりますし、東村山ＲＣは自分のクラブに近いような感じがします。
何ができるかわかりませんが、一年間頑張って行きたいと思います。それから私どもがＦＲＣ例会の今年度担当となりますが、10月後半に予定し良い例会したいと思いますので出席宜しくお願い致します。

■東京東大和ＲＣ幹事　西川誠一様

会長の補佐役の西川と申します。栄町1丁目からやって来ました。毎年、八坂神社に初詣に来ておりますし、身近なメンバーの方々ばかりです。例会は初めてですが、是非色々と吸収させて頂いて、今年何度メークアップに来られるかチャレンジしようと思います。どうか宜しくお願い申し上げます。

■地区職業人育成委員　本荘修様

もう年度が替わりましたが昨年はクラブ奉仕室を担当させて頂き、目時ガバナー補佐はじめ當麻さん、山本さんや東村山ＲＣのメンバーに大変お世話になりました。そのお礼をしたくお伺いしました。貴クラブは40周年も過ぎましたが、私は設立5年後に東大和ＲＣに移りましたが、その時のメンバーがまだいらっしゃるというのは大変心強く思いますし身近に感じ、また何度かメークアップに来たいと思います。地区職業人育成委員会は新しい委員会で、これから頑張ろうという話ですが、色々と当クラブにもお願いすることもあるかと思いますが、何とぞ宜しくお願い致します。

■委員長報告

■中丸クラブ管理委員長

お詫びとご連絡がございます。週報2083回の1ページ目の点鐘が町田会長となっていますが、枕山会長の誤りです。お詫びして訂正いたします。

次に連絡ですが、8月22日の家族親睦花火例会についての出欠を回覧させて頂きました。まだ少々先になりますが、できるだけご都合をつけて頂き多くの皆様の参加を宜しくお願い致します。

■神﨑対人地雷除去に関する特別委員会地区委員

対人地雷除去に関する特別委員会は来年で終わります。募金は来年5月で終了しますが、これに伴い来年2月にカンボジアへ行くわけですが、当クラブから4名の参加となっています。地区では27クラブ204名の仮登録を頂いております。飛行機は230～270人乗りですが、47名のビジネスクラス希望がありましてこれを半分にして欲しいとのことで、今個別に一人一人に当たっています。今年の9月に正式に募集しますので余裕のある方はまた応募して頂きたいと思います。

終わりに「たきび」の村田会員が、店のレジの近くに募金箱を置いていただいて、お客様のおつりを入れて頂いたものを持って来てくれました。合計で7771円ございました。これを地区の方へ送りまして、村田会員の名前を載せて頂くという形を取らせて頂きます。皆様もあと1年ですのでご寄付を宜しくお願い致します。

■クラブ協議会

■當間社会奉仕委員長

ロータリークラブの中核をなす、四大奉仕委員会の一角をになう、社会奉仕委員会を任され、責任を感じております當間です。
副委員長に竹田会員と先輩の五十嵐委員の3名で担当させて頂きます。ご存知のごとし今年度は会員も減少し、それに伴い活動費の削減の中、いかように事業計画を立て、実行すべきか必要性が求められるわけですが、枕山会長の方針「誠心誠意、和をもって」の言葉を大切にクラブ一丸となり事業を進めて行きたい。当委員会は3年前より地域発展、環境保全両委員会を含めた委員会として活動されて来たわけですが、ＲＩの社会奉仕に対する考え、地区･クラブに於いて考え、特に地域に密着した事業等もあり、それらをよく把握し進めて参りたいと思います。

☆事業計画
1.前年度事業の継続
2.地域事業、イベントに参加協力
3.高齢社会に対する福祉活動

又、各委員会と横の連絡を密にとり、中学校、東村山西高のブラスバンド部コンサート等を開催できればと思います。

■小町青少年奉仕委員長

☆活動方針
大人と子供の中間層にある青少年達に、確実に迎える少子高齢化社会の未来をみすえた準備をさせる必要があります。
そのために青少年を立派な大人に育てることは大人の責任です。我々ロータリアンが青少年の模範でなくてはなりません。
市内小、中学校および教育委員会へ共同事業を展開するための働きかけをしていきたい。

☆事業計画
1.東村山市が提唱する「いのちの教育」推進プラン・輝け！東村山っ子に参加する。
2.多くの青少年とロータリアンが接する場や機会を設ける。
3.市内の全中学校が参加する野球大会の試合を観戦して表彰式に参加する。

■野崎(一)職業奉仕委員長

職業奉仕委員会は神崎会員、隅屋会員を委員として活動します。職業奉仕はロータリーの四大奉仕の基本であり木に例えれば幹であります。昨年亡くなられた佐藤千尋パストガバナーは国際奉仕や社会奉仕は、国連や赤十字がやるようなことばかり言っている。ロータリーの根源は職業奉仕にと言っています。同じく行動指針は、4つのテストでありそこに掲げられている通りですが、平たく言うと

(1)軽率な事をするな
(2)いい加減なことをいうな
(3)軽挙妄動をするな
(4)自分の損害を棚上げにして、相手の事を先に考えよ

という意味ではロータリーは成人道場であると言っています。
この様に職業奉仕というのは今年度のケニーＲＩ会長が言うようにロータリーは独特の概念であり、またロータリーの金看板でもあり、これを念頭に多田ガバナーが推奨しています

(1)職業人育成のフォーラムを開く
(2)職場での環境保全から家庭、地域へ(社会奉仕委員会と何ができるか検討したい)
(3)職場見学

特に(1)と(2)については具体的には煮詰めていないので早急に具体化したいと思います。ロータリーという神輿は会員皆で担がなければ盛んになりません。枚山会長言われるように全員参加で、神輿にぶら下がらないようにお願いします。

■赤木青少年交換委員長

今年度青少年交換委員長を担当することになりました赤木です。さて、委員長に就任しましたが、派遣学生やら又当委員会の活動につきましては良くわかりません。幸いなことに当クラブには地区で大変ご活躍され当委員会の事業活動に熟知されております野澤秀夫、野崎一重両会員のご指導を受けながら、この一年間一生懸命勉強させて戴きますので宜しくお願いいたします。

■二ノ宮ロータリー財団委員長

ロータリー財団委員長の二ノ宮です。財団のメンバーは二ノ宮繁、副委員長野崎征吉先輩、溝井英征先輩と3名で、この一年間活動してまいりますので会員の皆さんの協力の程宜しくお願いします。ロータリー財団はロータリー会員からの寄付を原資としてロータリーが果たすべき種々の人道的、教育的奉仕活動を行う組織である。

☆活動方針
ロータリー財団とはロータリー全会員からの寄付を原資として、博愛、親善、教育または人道的プロジェクトを通じて、明確かつ効果的な企画によって全会員の協力を得て目標達成に全力で努力します。

☆事業計画
1.地区レベルの目標(会員一人当たり年100ドル個人寄付・ベネファクターはクラブで2名)を良く理解して頂けるよう頑張ります。
2.寄付をして頂くために例会に於いて委員長報告を行い、ご理解の上寄付の協力をお願いする。
3.社会奉仕委員会、青少年奉仕委員会などと連絡を図り地区助成金を活用して地域奉仕活動に協力をする。

■漆原米山奨学会委員長

☆活動方針
将来、日本と世界を結ぶ「架け橋」となって国際社会で活躍し、ロータリー運動の良き理解者となる人材を育成、「民間外交として世界に種子を蒔く」という米山記念奨学事業の使命に基づき未来に向って平和の架け橋となる尊い奉仕活動を推進する。

☆事業計画
1.米山奨学事業への協力
2.米山月間(10月)に米山奨学生の卓話を計画
3.財団法人米山梅吉記念館見学の予定

まず、事業計画の1ですが、奨学事業への協力と言う事で、上期に普通寄付を実施させて頂きます。そして特別寄付ですが、現在2～3名の方にお願いしていますが、「特別寄付をしても良い」と思う会員が居ましたら、私か土方会員まで連絡をお願い致します。尚、特別寄付に対しましては2006年より免税優遇措置の認可を与えられていますので、確定申告に必要な証明書類を米山奨学会から送付します。
2番目の米山奨学生の卓話ですが、出来る限り奨学生にお願いしますが、日程等合わなかった場合は米山奨学会の職員又は、担当委員にお願いして勉強会を実施したいと思います。
3番目の財団法人米山梅吉記念館の見学予定ですが、来年2月頃一泊で実施したいと思います。入会してまだ一度も記念館に行ったことのない会員の方は是非参加して頂き研修して欲しいと思います。
また、米山奨学会は敗戦後の復興が続く1952年に日本のロータリーの礎を築いた米山梅吉氏の遺徳を記念する為、東京ロータリークラブによって「米山基金」が設立されました。戦争の過ちを繰り返さないために「平和日本」をアジアに、そして世界に理解してもらいたい、平和を愛し、青年達に援助の手を差しのべていた事からアジア諸国から留学生を招致し平和を求める日本人に会う事によって互いの信頼関係を築く国際奨学事業がふさわしいとされました。
今後、日本の生きる道である「平和日本」をアジア諸国に、そして世界に理解してもらうための留学生支援こそ最もふさわしい国際奉仕事業ではないでしょうか。会員皆様の米山奨学会への理解と、そしてご協力を宜しくお願い致します。

■戸澤会員増強委員長

☆活動方針
ここ何年か、ロータリークラブの会員減少が危惧されております。これに歯止めをかけるべく、今年度は他団体との積極的な接触や全会員に勧誘をお願いし、東京東村山ロータリークラブの存続と増強5名を目標にかかげ会員増強をめざします。

☆事業計画
1.全会員による情報交換と勧誘を積極的にお願いしてまいります。
2.他団体との積極的な交流を図ります。
3.過去会員との親交を計り再入会を勧める。
4.8月は会員増強月間です。増強委員会の4人でロータリーへの思いと増強について発表していただく予定です。
5.今、東村山の診療所、病院が150軒あり、そのうち木曜日休診のところが83ヶ所あります。当クラブには医者の会員が少ないので、是非お知り合いのお医者様を紹介して下さい。

■点鐘：杣山会長